

袖ヶ浦市子育て応援プラン（第 3 期）の計画変更について
ー乳児等通園支援事業の量の見込みと確保方策等に関する変更ー

1 量の見込みについて

（令和 8・9 年度の経過措置の適用及び上限時間について）

変更前の量の見込みは、改正前の「量の見込み手引（改訂版 ver.2）」により、対象児童全員が、一人当たり月 10 時間利用することを基本として算出することとされていました。

この基本的な算出式によると、令和 8 年度の量の見込みは 36 人となりますが、待機児童対策に注力する本市の状況では、その規模の受入定員の確保は非常に困難であるため、令和 8・9 年度は経過措置の適用を想定し、月 3 時間の上限時間として推計しました。

※経過措置

内閣府令で定める月一定時間（月 10 時間）の利用可能枠での実施が難しい市町村においては、令和 8・9 年度において、月 3～10 時間の範囲内で月の上限時間を設定することを可能とする措置。

このたび、改正後の「量の見込み手引（改訂版 ver.3）」に基づき、認定率や一人当たり利用時間の見込みを踏まえ、改めて量の見込みの推計を行いました。

その結果、変更後の令和 8・9 年度の量の見込みでは、それに対応する受入定員の確保が可能であると見込まれることから、経過措置の適用はせず、令和 8 年度の事業開始当初から、月 10 時間の上限時間（利用可能枠）での利用が可能となります。

(変更後の量の見込み)

	年 齢	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 1 0 年度	令和 1 1 年度
対象児童	0 歳児	215 人	209 人	212 人	205 人
	1 歳児	199 人	198 人	195 人	192 人
	2 歳児	189 人	200 人	199 人	190 人
	合 計	603 人	607 人	606 人	587 人
認定率	0 歳児	30%	36.6%	43.3%	50%
	1 歳児	30%	36.6%	43.3%	50%
	2 歳児	30%	36.6%	43.3%	50%
利用者数	0 歳児	64.5 人	76.5 人	91.8 人	102.5 人
	1 歳児	59.7 人	72.5 人	84.4 人	96.0 人
	2 歳児	56.7 人	73.2 人	86.2 人	95.0 人
一人当たり 利用時間	0 歳児	7.0h	7.0h	7.0h	7.0h
	1 歳児	7.0h	7.0h	7.0h	7.0h
	2 歳児	7.0h	7.0h	7.0h	7.0h
必要受入 時間数	0 歳児	451.5 時間	535.5 時間	642.6 時間	717.5 時間
	1 歳児	417.9 時間	507.3 時間	591.0 時間	672.0 時間
	2 歳児	396.9 時間	512.4 時間	603.2 時間	665.0 時間
必要利用 定員総数	0 歳児	3 人	4 人	4 人	5 人
	1 歳児	3 人	3 人	4 人	4 人
	2 歳児	3 人	3 人	4 人	4 人
	合 計	9 人	10 人	12 人	13 人

※認定率は、対象児童のうち事業の利用認定を受ける児童の割合。令和 6 年度先行実施団体の状況等を参考に、制度の浸透を考慮して 50% までの段階的な上昇を見込んだ。

※一人当たり利用時間は、月 10 時間の上限時間（利用可能枠）の中で、令和 6 年度先行実施事業所の平均利用時間を参考とし、平均月 7 時間として見込んだ。

※量の見込み（必要利用定員総数）は、必要受入時間数を月の受入時間 176 時間（8 時間×22 日）で除し、端数は切り上げている。

2 量の見込みに対する確保方策について

上記で算出した各年度の量の見込みに対して、私立保育施設や公立保育所等において、量の見込みに対応する受入定員の確保を図ってまいります。